

平成27年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力 「ポート・ロイヤル緊急対応改善計画」引渡式

2017年8月9日、中野大使は、キングストン市ポート・ロイヤルのカリブ海事学校にて行われた、平成27年度対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ポート・ロイヤル緊急対応改善計画」の引渡式に出席し、3台の中古消防車および1台の中古救急車をカリブ海事学校に寄贈しました。

カリブ海事学校では、国際海事機関（IMO）より訓練の必須科目として定められている救急救命および消火活動を学ぶための緊急車両が整備されておらず、国民の生命に関わる重要な訓練を実施できずにいました。また、当案件実施地のポート・ロイヤルは、細長い半島の先端に位置しており、地理的な制約から緊急対応力の脆弱性が問題となっていました。

このプロジェクトでは、日本外交協会（SPJD）により整備された1台の中古消防車および1台の中古救急車をカリブ海事学校に、1台の中古消防車を半島の先端に位置するポート・ロイヤル消防署に、さらに1台の中古消防車を半島の付け根のドナルド・クアリ公立高等学校に供与することにより、ポート・ロイヤル地区の緊急対応能力を強化し、市民が安全な生活を送ることに貢献することを目的としています。

当日の引渡式へは、マイケル・ヘンリー交通・鉱業大臣、フィリッツ・ピノック・カリブ海事学校校長を含む、カリブ海事学校関係者など計約50名が参列しました。

ヘンリー大臣は、式典でのスピーチでポート・ロイヤルおよび近隣のコミュニティのために4台の緊急車両を整備した日本の支援に対し感謝の意を表しました。ピノック校長も、日本の支援に対し感謝するとともに、供与された4台の車両を大切に使用することを約束しました。

中野大使は、住民が安全に生活できる環境を整えることは、人間の安全保障の観点から非常に重要であり、セント・エリザベス県政府事務所およびジャマイカ消防隊とパートナーとなり、同プロジェクトを通じジャマイカの国民を支援できることを大変嬉しく思うと述べました。



(左) マイケル・ヘンリー交通・鉱業大臣に供与された車両の鍵を渡す中野大使
(右) 中野大使によるスピーチ



(左) ヘンリー大臣によるスピーチ
(右) フリッツ・ピノック カリブ海事学校校長によるスピーチ



(左) カリブ海事学校訓練生による行進
(右) 供与された救急車および3台の消防車





(左) 供与された車両



(右) 供与車両を使用した消火訓練の様子

